ScienceX

蓄電所の市場ノート 2026 年 11 月号

サイエンスエックス株式会社　発行 2026 年 11 月 23 日

「系統用蓄電池」（送電網につないで、電気をためて出し入れする大きな電池）は、電気の余りや不足を直す「力」を売り、電気の値段が時間によって変わる差も使って働きます。このノートは、公表されている数字と当社の記録から、2026 年 10 月の市場の動きを図と表でお伝えします。今号から、号の名前を発行する月にしました。この号は 2026 年 10 月の市場の数字です（前の号の 2026 年 10 月号とあわせて、10 月の市場を扱います。前の号では需給調整市場だけ 9 月分でした）。この号は、作る日に公表されているいちばん新しいデータで作っています。2026 年 11 月の途中経過は 3 節、どの出所の何日までのデータかは 4 節にあります。

1. 蓄電所の 3 つの稼ぎ口（このノートの読み方）

蓄電所（系統用蓄電池）の収入は、3 つの市場から入ります。①需給調整市場（EPRX）は、電気の余りや不足を直す「力」を送配電会社に売る市場。②卸電気（JEPX）は、安い時間に電気を買ってため、高い時間に売る市場。③容量市場（OCCTO）は、将来の電気の供給力を国が前もって買う市場です。このノートは、この 3 つの順に数字を並べます。節の題の頭の①②③が、どの市場の話かを示します。

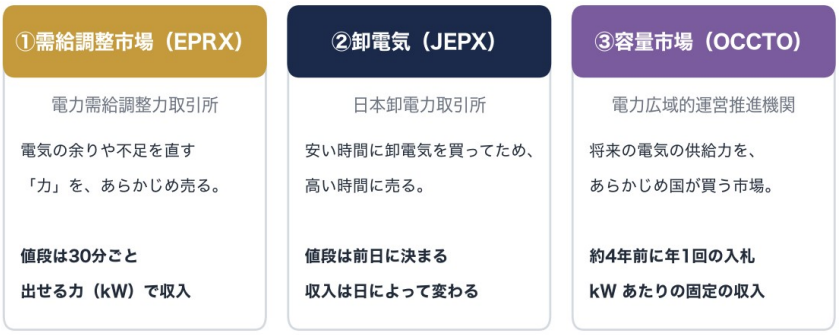


図 1　蓄電所の 3 つの稼ぎ口

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）・電力需給調整力取引所（EPRX）・電力広域的運営推進機関（OCCTO）の制度。

2. 今月の動き３つ

３つの市場の数字から、2026 年 10 月の動きを３つ選びました。

・需給調整市場（EPRX）では、一次調整力（オンライン）は 2026 年９月（確報値）→2026 年 10 月（速報値）で応札倍率 124.3%→145.9%、平均落札価格 3.42 円→3.22 円（円/kW・30 分）でした。

・需給調整市場（EPRX）では、一次調整力（オフライン）の平均落札価格が 2026 年９月（確報値）の 5.80 円から 2026 年 10 月（速報値）の 2.69 円（円/kW・30 分）になりました。

・卸電気（JEPX）では、2026 年 10 月の高い４時間の平均と安い４時間の平均の値差（月平均）が、東京で 17.14 円/kWh、九州で 19.30 円/kWh でした。

卸電気（JEPX）・当社の記録（蓄電所マーケットの新着と接続検討）の 2026 年 10 月の数字は、前の号（2026 年 10 月号）に載せた数字と同じです。容量市場は、この号で追加オークションの約定結果を載せました（前の号には載せていませんでした）。2026 年 11 月の途中の数字は、次の節に載せました。応札倍率は、応札した量÷送配電会社が募集した量で、100%を超えると募集より多くの札が集まったことを表します。

3. 2026 年 11 月の途中経過（需給調整市場は 23 日まで・卸電気は 24 日までの速報）

この節の数字は、2026 年 11 月の途中までの速報で、2026 年 11 月の全日の数字ではありません。月が終わると変わります。2026 年 10 月の全日の数字と並べました。

・一次調整力（オンライン）の応札倍率は、2026 年 10 月（全日）の 145.9%に対し、2026 年 11 月１日～23 日の速報は 131.1%です。平均落札価格は 3.22 円から 2.91 円/kW・30 分です。

・一次調整力（オフライン）の平均落札価格は、2026 年 10 月の 2.69 円に対し、2026 年 11 月１日～23 日の速報は 2.66 円/kW・30 分です（応札倍率は 92.4%と 96.5%）。

・三次調整力②の平均落札価格は、2026 年 10 月の 2.22 円に対し、2026 年 11 月１日～23 日の速報は 3.70 円/kW・30 分です。

・卸電気のシステムプライス（全国）の平均は、2026 年 10 月（全日）の 22.51 円/kWh に対し、2026 年 11 月１日～24 日（受渡日）は 28.41 円/kWh です。４時間の値差（日ごとの差の平均）は、東京 17.14 円→17.92 円、九州 19.30 円→23.98 円/kWh です。

需給調整市場（EPRX・全国）：2026 年 11 月１日～23 日の受渡分の速報値（23 日分）と、2026 年 10 月（31 日分）の速報値の比べ

商品	2026年10月の応札倍率（全日・速報値）	2026年11月1日〜23日の応札倍率（速報）	2026年10月の平均落札価格（円/kW・30分）	2026年11月1日〜23日の平均落札価格（速報・円/kW・30分）
一次調整力（オンライン）	145.9%	131.1%	3.22	2.91
一次調整力（オフライン）	92.4%	96.5%	2.69	2.66
二次調整力①	180.1%	156.5%	3.29	3.17
二次調整力②	329.0%	302.9%	2.86	2.71
三次調整力①	188.4%	165.1%	2.60	2.48
三次調整力②	417.6%	377.5%	2.22	3.70
複合商品	165.1%	153.5%	2.65	2.48

2026年11月は月の途中の速報値で、月が終わると数字が変わります。応札倍率は応札量÷募集量、平均落札価格は落札量で重みを付けた平均です。

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

卸電気（JEPX スポット市場）：2026年11月1日〜24日の受渡分（24日分）と、2026年10月（31日分）の比べ（円/kWh）

エリア	2026年10月の平均（全日）	2026年11月1日〜24日の平均（途中）	2026年10月の4時間の値差（日ごとの差の平均）	2026年11月1日〜24日の4時間の値差（途中）
システム（全国）	22.51	28.41	20.42	22.72
北海道	20.49	26.64	29.02	23.31
東京	27.02	32.10	17.14	17.92
関西	19.50	25.91	18.71	21.41
九州	15.07	21.67	19.30	23.98

平均は30分コマの単純平均、4時間の値差は、その日の高い8コマの平均から安い8コマの平均を引いた差の日ごとの平均です（「卸電気」の節と同じ）。2026年11月は月の途中の数字で、月の全部の数字ではありません。

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）公表のスポット市場の取引結果。当社集計。

ScienceX

4. この号のデータの時点

この号の数字の出所と、何日までのデータかを並べました。需給調整市場（EPRX）・卸電気（JEPX）・容量市場（OCCTO）の数字は、作る日に公表されているいちばん新しいデータを取り直しています。当社の記録は、表に書いた日の時点の集計です。

出所	対象の期間	種類	取った・確かめた日
需給調整市場（EPRX）・2026年10月の数字	2026年10月1日〜31日（31日分）	速報値（確報値は未公表）	2026年11月23日
需給調整市場（EPRX）・月ごとの推移（図4・図5ほか）	2024年4月〜2026年9月は確報値、2026年10月は速報値	確報値は公表されている月だけ	2026年11月23日
需給調整市場（EPRX）・2026年11月（月の途中）	2026年11月1日〜23日（23日分）	速報値	2026年11月23日
卸電気（JEPX）・2026年10月の数字	2026年10月1日〜31日（31日分）	取引結果（確定した約定値）	2026年11月23日
卸電気（JEPX）・2026年11月（月の途中）	2026年11月1日〜24日（24日分・受渡日）	取引結果（確定した約定値）	2026年11月23日
容量市場（OCCTO）	メインオークション: 実需給2024〜2029年度（最新は2029年度）／追加オークション: 実需給2025〜2027年度（最新は2027年度）。実需給2030年度の約定結果は、確かめた日にはまだ公表されていません	公表された約定結果	2026年11月23日
当社の記録・蓄電所マーケットの新着（2026年10月）	2026年10月1日〜31日	当社の記録（前の号と同じ数字）	前の号の集計のまま
当社の記録・接続検討の回答の集計	2026年10月19日時点に当社が受け取っていた回答書	当社の集計	2026年10月19日

「確報値」は、EPRX が月が終わってから公表する値（約定結果に、約定のあとの追加調達や訂正を反映した合計。公表ファイルの「合計（確報値）」の行）、「速報値」は、約定した直後に公表される値です。確報値が出ると、その月の数字は少し変わることがあります。

5. ① 需給調整市場（EPRX）｜7 つの商品と、エリアごとの値段

需給調整市場は、電気の余りや不足を直す「力」を、送配電会社が 30 分ごとに買う市場です。商品は、出力を変えるまでの速さで分かれます（一次調整力は周波数の変化を受けて、二次・三次調整力は送配電会社の指令を受けて動きます）。一次調整力がいちばん速く、三次調整力②がいちばんゆっくりです。一次調整力は、周波数の変化を自分で感じ取って動く商品で、送配電会社が専用線で動きを見る「オンライン」と、専用線を引かずに、動いた記録をあとから出す「オフライン」の 2 つの枠があり、別々に募集・取引されるので、分けて示します。複合商品は、複数の商品をまとめて出す札です。値段は、出せる力 1kW・30 分あたりの円で決まります。kW は出せる電力の大きさの単位で、電気の量を表す kWh とは別です。30 分ごとの取引の 1 回分を「コマ」と呼びます。図は、エリアごと（電源のあるエリア別）の落札価格の幅です。細い線は 1 か月でいちばん安い札からいちばん高い札まで、太い帯は落札のあったコマの 10 コマのうち 8 コマが入る値段の幅、点は平均落札価格です。全国の数字は「市場の数字」の節の表にあります。

需給調整市場のエリア別の平均落札価格（円/kW・30 分）は全商品・全エリアの中で、三次調整力②の東北の 13.64 円がいちばん高く、三次調整力②の四国の 0.38 円がいちばん安いです。

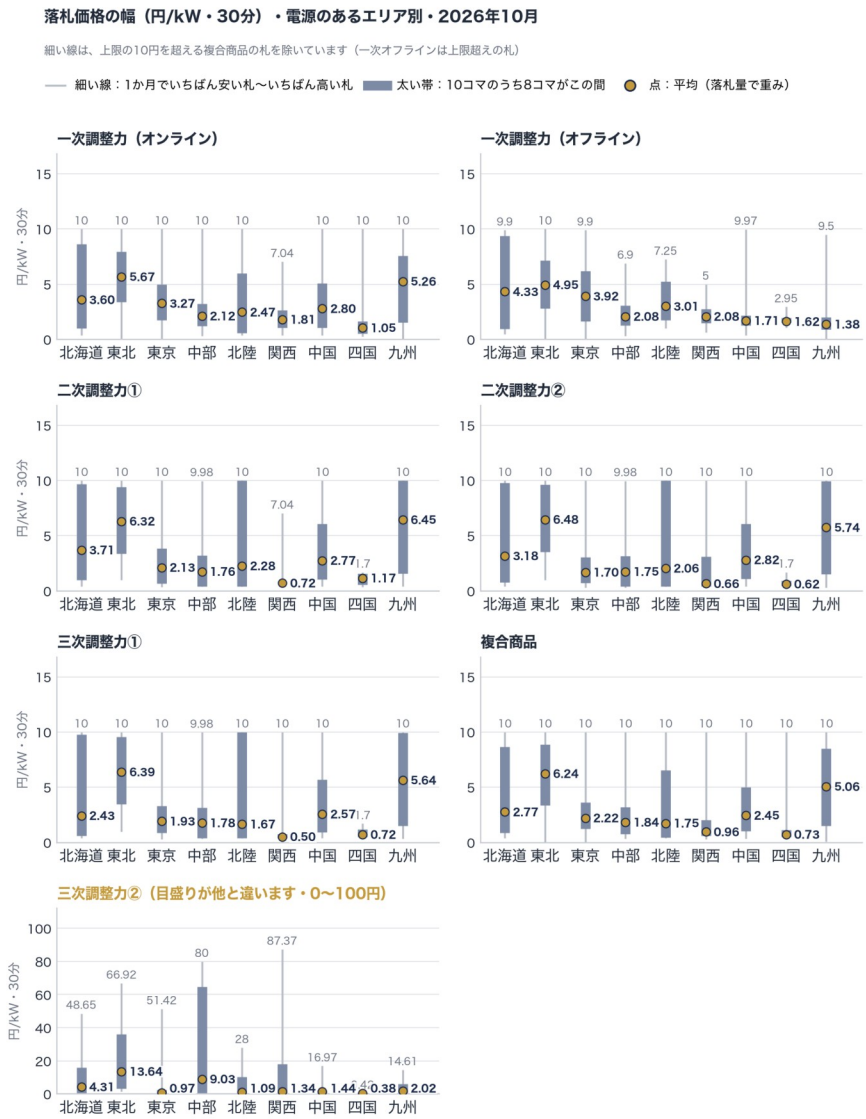


図２　需給調整市場のエリアごとの落札価格の幅と平均（2026 年 10 月（1 日〜31 日）・電源のあるエリア別）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

商品	出力を変えるまでの時間	続ける時間
一次調整力（オンライン）	10 秒以内	5 分以上
一次調整力（オフライン）	30 秒以内	設定なし
二次調整力①	5 分以内	30 分
二次調整力②	5 分以内	30 分
三次調整力①	15 分以内	30 分
三次調整力②	60 分以内	30 分
複合商品	組み合わせた商品の要件	組み合わせた商品の要件

© Science X Inc. ・ https://www.scix.co.jp

6. ① 需給調整市場（EPRX）｜札が落ちやすい管区と時間

約定率は、応札した量のうち落札された量の割合で、高いほど出した札が落ちやすいことを表します。図は、管区（電源のあるエリア）ごとに、商品ごとの約定率を 1 日の時刻（30 分ごと）で描いたものです。線が途切れている時刻は、応札がありませんでした。

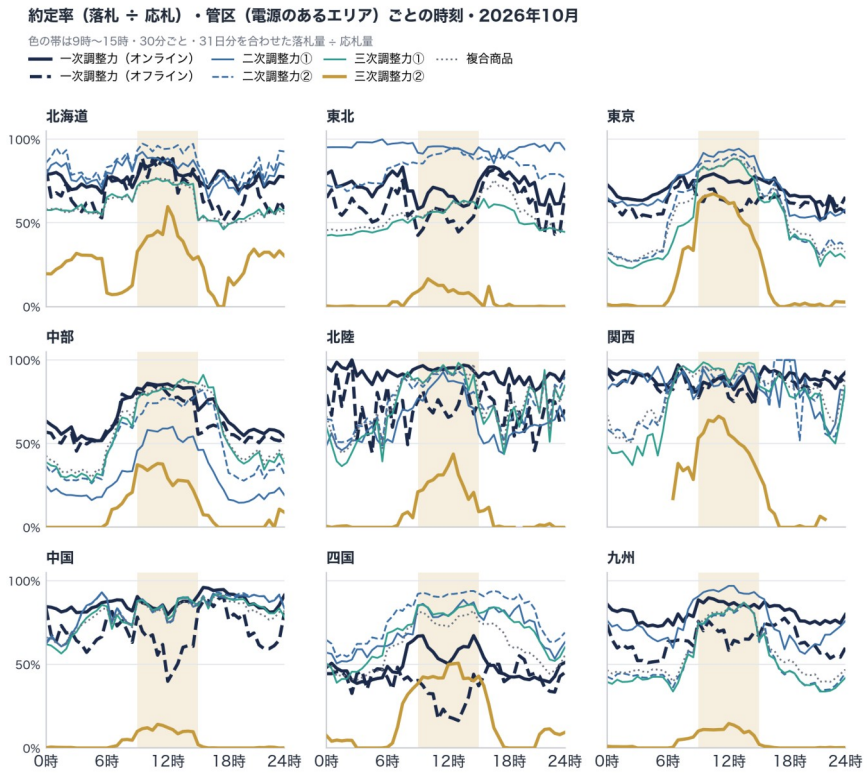


図 3　需給調整市場の約定率（管区（電源のあるエリア）×時刻・2026 年 10 月（1 日〜31 日））

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

7. ① 需給調整市場（EPRX）｜一次調整力（オンライン）は、席の取り合いになった

一次調整力は、周波数の変化を受けて、オンラインは 10 秒以内、オフラインは 30 秒以内に出力を変える、いちばん速い商品で、蓄電池がよく使われます。左がオンライン、右がオフラインの枠です。棒は応札倍率（応札した量÷送配電会社が募集した量）で、100%を超えると、募集より多くの札が集まったことを表します。100%未満でも、落札されない札はあります（約定率は「市場の数字」の表）。棒は、応札が増えても、募集が減っても高くなります。線は平均落札価格です。2024 年 4 月からの月ごとの数字です。元の数字は、2024 年 4 月～2026 年 9 月は確報値、2026 年 10 月は速報値です。確報値は、月が終わってから公表される値で、速報値と少し違います。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）の応札倍率は 2026 年 6 月の 108.6%で 2024 年 4 月以降で初めて 100%を超え、2026 年 10 月は 145.9%・平均落札価格 3.22 円/kW・30 分で、募集量は 2024 年 4 月の 3,354.0MW から 2026 年 10 月の 1,095.5MW です。需給調整市場の一次調整力（オフライン）は 2026 年 10 月の応札倍率 92.4%・平均落札価格 2.69 円/kW・30 分で、募集量は 2024 年 4 月の 943.0MW から 2026 年 10 月の 501.5MW です。

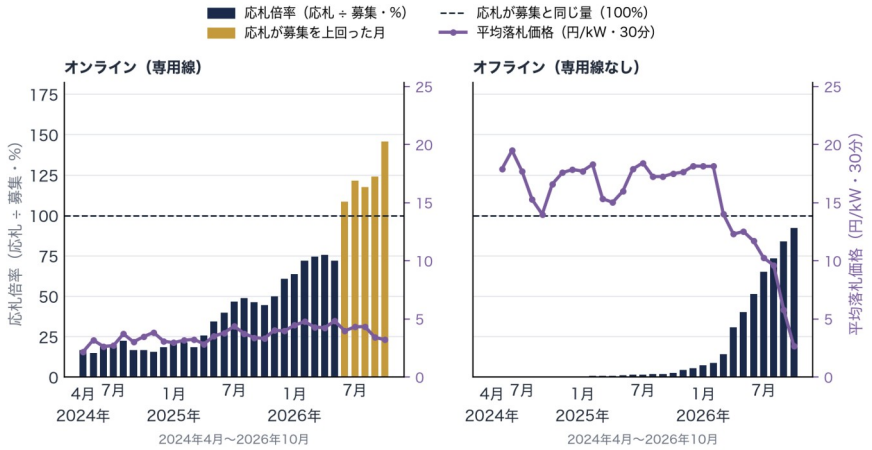


図 4　一次調整力の応札倍率（棒）と平均落札価格（線）（月ごと。左がオンライン、右がオフライン。金の棒は応札が募集を上回った月）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（確報値が公表された月は確報値、それ以降の月は速報値）。当社集計。

8. ① 需給調整市場（EPRX）｜商品ごとの値段は、こう動いてきた

2024 年 4 月からの、商品ごとの平均落札価格（落札量で重みを付けた月平均）です。三次調整力②は 2025 年 3 月 14 日から、一次〜三次①と複合商品は 2026 年 3 月 14 日から、3 時間ごとの取引が 30 分ごとの取引に変わりました。元の数字は、2024 年 4 月〜2026 年 9 月は確報値、2026 年 10 月は速報値です。確報値は、月が終わってから公表される値で、速報値と少し違います。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）の平均落札価格は 2024 年 4 月の 2.19 円から 2026 年 10 月の 3.22 円で、最も高い月は 2026 年 5 月の 4.83 円（円/kW・30 分）です。需給調整市場の三次調整力②の平均落札価格は 2024 年 4 月の 4.70 円から 2026 年 10 月の 2.22 円で、最も高い月は 2024 年 5 月の 6.03 円（円/kW・30 分）です。

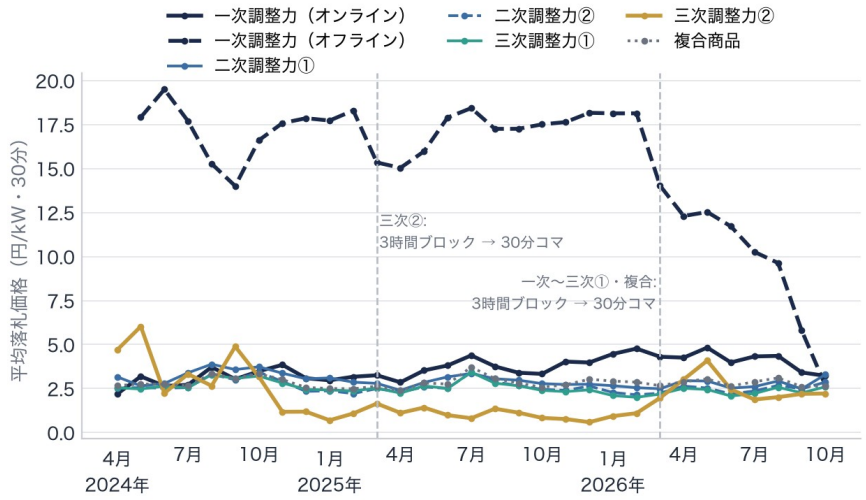


図 5　需給調整市場の商品ごとの平均落札価格（円/kW・30 分・月ごと）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（確報値が公表された月は確報値、それ以降の月は速報値）。当社集計。

9. ① 需給調整市場（EPRX）｜1日のどの時間が高いか

2026年10月（1日～31日）の、商品ごとの1時間ごとの平均落札価格です。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）の2026年10月の平均落札価格は、いちばん高いのが17時台の4.01円、いちばん安いのが8時台の2.78円（円/kW・30分）です。需給調整市場の三次調整力②は、いちばん高いのが19時台の9.03円、いちばん安いのが17時台の0.38円（円/kW・30分）です。

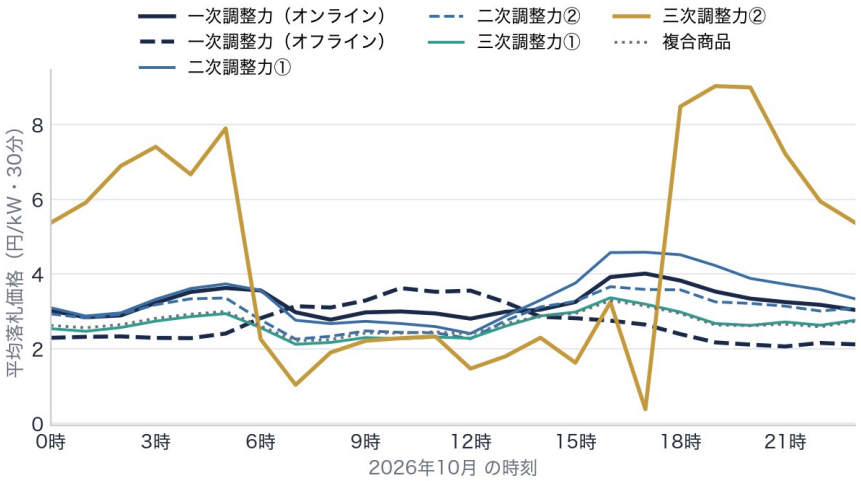


図6　需給調整市場の時間帯ごとの平均落札価格（2026年10月（1日～31日）・円/kW・30分）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

10. ① 需給調整市場（EPRX）｜蓄電池は、どの商品で使われているか

図は、落札された量のうち蓄電池が占める割合です。表は、蓄電池が落札した分の平均落札価格と、商品全体の平均落札価格を比べたものです。

需給調整市場の一次調整力（オンライン）の2026年10月の蓄電池の割合は35.3%で、蓄電池が落札した分の平均落札価格は2.93円（全体3.22円、円/kW・30分）です。

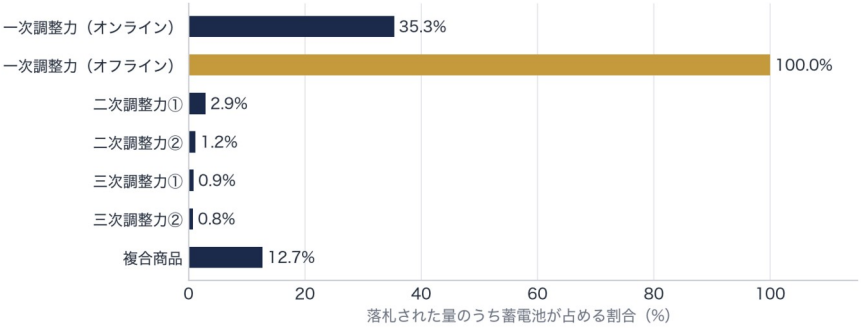


図7　需給調整市場で蓄電池が占める割合（%）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）の電源種別別。当社集計。

商品	蓄電池が落札した分（円/kW・30分）	商品全体（円/kW・30分）
一次調整力（オンライン）	2.93	3.22
一次調整力（オフライン）	2.69	2.69
二次調整力①	6.08	3.29
二次調整力②	5.10	2.86
三次調整力①	5.08	2.60
三次調整力②	64.71	2.22
複合商品	2.96	2.65

どちらも落札量で重みを付けた平均です（2026年10月・速報値・全国）。三次調整力②の蓄電池の分は、落札量の0.8%しかありません。蓄電池が落札したコマの全国の平均落札価格は、蓄電池の落札量で重みを付けて9.35円/kW・30分です。蓄電池の分の平均が高いのは、高値のコマへの偏りだけでは説明できず、蓄電池の札そのものの値段が高いためです（落札された札は、それぞれ自分の札の値段で精算されます）。

11. ① 需給調整市場（EPRX）｜売上は、ごく一部のコマに集まる

その月の落札のあった30分コマを、売上（平均落札価格×落札量・全国）の多い順に並べ、上位のコマが月の売上の何%を占めるかを商品ごとに描きました。点線より上に膨らむほど、売上が少ないコマに集まっています。三次調整力②は、天気による再エネの発電の読み違いに備える商品で、値段は多くのコマで安く、ごく一部のコマで高くなります。

需給調整市場の2026年10月の上位10%のコマが月の売上に占める割合は、三次調整力②が59.8%、一次調整力（オンライン）が14.8%でした。

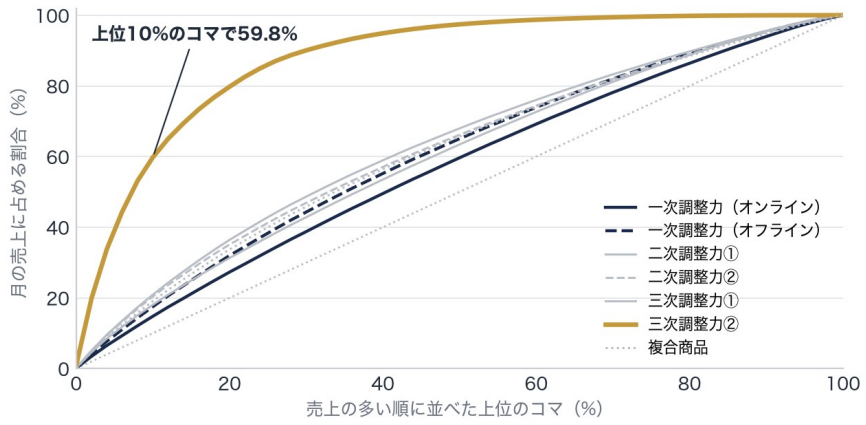


図8　需給調整市場の売上が上位のコマに集まる割合（2026年10月（1日〜31日）・全国）

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）。当社集計。

2026 年 10 月、落札のあったコマ 1,207 のうち、売上（平均落札価格×落札量）の上位 1%のコマが、月の売上の 10.7% を占めました。全国の平均落札価格が 10 円/kW・30 分以上のコマは 92、落札の無かったコマは 281 です。

最高落札価格の高いコマ（電源のあるエリア別）。最高落札価格は落札された札のうちいちばん高い 1 つの札の値段で、同じコマ・エリアの平均落札価格を右に並べました:

日	時刻	エリア	最高落札価格（円/kW・30分）	同じコマ・エリアの平均落札価格（円/kW・30分）
10月8日	12時30分	関西	87.37	15.17
10月8日	13時30分	関西	82.33	12.25
10月13日	13時30分	関西	82.33	22.17
10月13日	14時00分	関西	82.33	22.69
10月1日	14時00分	中部	80.00	34.10

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の三次調整力②の取引結果（速報値）。当社集計。

12. ② 卸電気（JEPX）｜平均の値段

卸電気とは、電力会社や小売会社が売り買いする電気のことです。その値段は、日本卸電力取引所（JEPX）の「スポット市場」（前日に翌日の電気を売り買いする市場）で決まります。「システム（全国）」は、日本全体を 1 つの市場とみなしたときの値段（システムプライス）です。地域の間の送電線が混み合うと、北海道から九州までのエリアごとの値段（エリアプライス）が分かれます。

卸電気（JEPX）のシステム（全国）の月間の平均は、2026 年 10 月が 22.51 円/kWh、前年同月が 11.67 円/kWh でした。

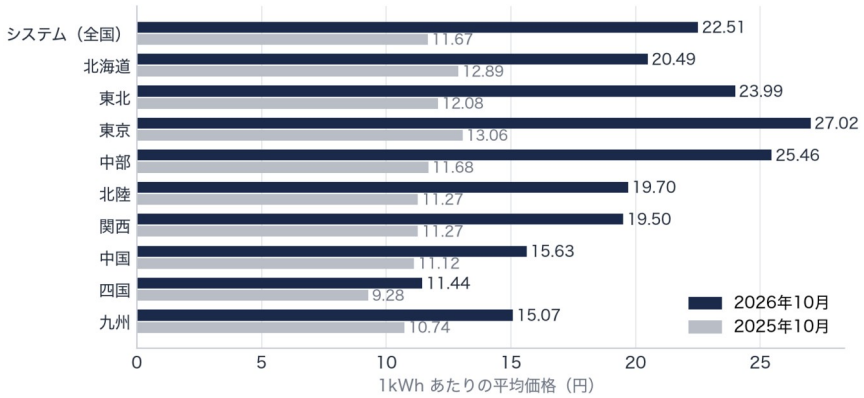


図 9　卸電気の平均価格（円/kWh）。紺が 2026 年 10 月、灰が前年同月

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）公表のスポット市場の取引結果。30 分ごとの価格の単純平均。当社集計。

13. ② 卸電気（JEPX）｜値段は 1 日のなかでこう動く

卸電気の値段は 30 分ごとに変わります。図は、月の同じ時刻の価格を平均した 1 日の形です。安い時間に電気をため、高い時間に出せば、その差額が蓄電池の収入になります。

卸電気の 1 日のなかの平均は、東京が 12 時 00 分台の 19.03 円から 16 時 30 分台の 37.11 円、九州が 12 時 00 分台の 4.94 円から 17 時 30 分台の 24.74 円（円/kWh）でした。

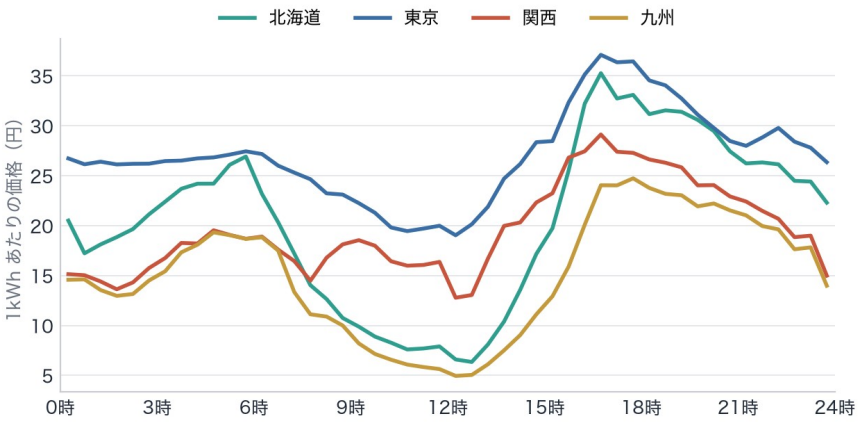


図 10　卸電気の 1 日の価格の山と谷（2026 年 10 月 の平均・円/kWh）

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

14. ② 卸電気（JEPX）｜値差は 1kWh あたりいくらか

その日いちばん高い 4 時間の平均価格から、いちばん安い 4 時間の平均価格を引いた差を、エリアごとに月平均で並べました。1kWh を安い 4 時間に買って高い 4 時間に売ったときの、1kWh あたりの差額に当たります。充放電で失う電気や手数料は引いておらず、安い時間と高い時間の順番も問わない単純な差です。

卸電気の高い 4 時間の平均と安い 4 時間の平均の値差（月平均）は、北海道の 29.02 円/kWh がいちばん大きく、東京の 17.14 円/kWh がいちばん小さい値でした。

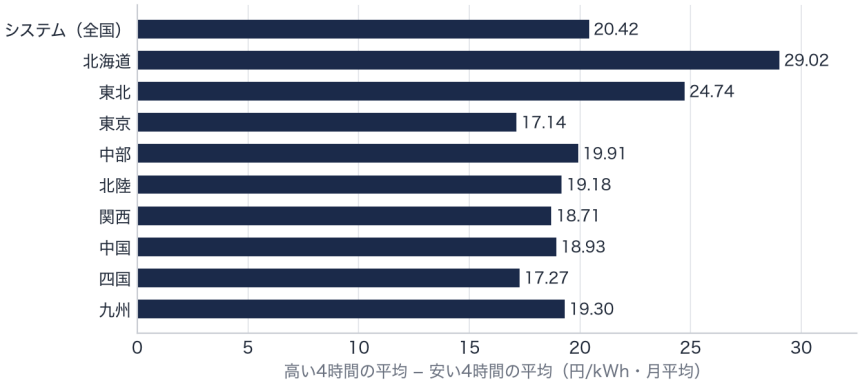


図 11　卸電気の値差: 高い 4 時間の平均 – 安い 4 時間の平均（2026 年 10 月・円/kWh・月平均）

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

エリア	2時間の値差（円/kWh）	4時間の値差（円/kWh）	4時間の値差が10円以上の日
システム（全国）	22.95	20.42	29
北海道	32.56	29.02	31
東北	27.09	24.74	30
東京	19.62	17.14	29
中部	22.37	19.91	29
北陸	21.71	19.18	31
関西	21.22	18.71	31
中国	20.90	18.93	31
四国	19.40	17.27	28
九州	21.19	19.30	31

値差は日ごとの差の月平均です。2026年10月は31日分です。

15. ② 卸電気（JEPX）｜値差は毎日ある

同じ4時間の値差を、日ごとに並べました。差が大きい日ほど、蓄電池が値差で稼げる余地が大きくなります。

卸電気の4時間の値差が10円以上の日は、31日のうち北海道・北陸・関西・中国・九州が31日、東北が30日、システム（全国）・東京・中部が29日、四国が28日でした。

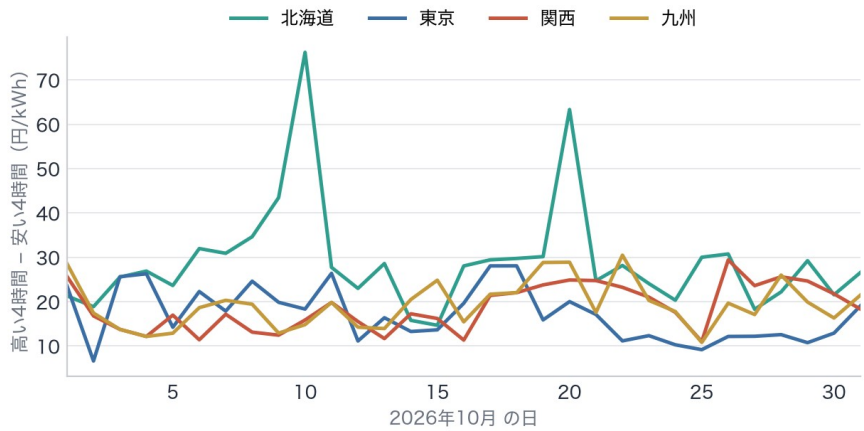


図12　卸電気の日ごとの値差（その日の高い4時間の平均 − 安い4時間の平均・円/kWh）

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

16. ③ 容量市場（OCCTO）｜将来の供給力を買う市場

容量市場は、4 年先の電気の供給力を年 1 回の入札で買う市場で、価格は kW あたり・1 年の円で決まります。左の図は、これまでのメインオークションの約定価格です。右の図は、長期脱炭素電源オークション（脱炭素の電源の新設などに、原則 20 年間の容量収入を約束する別の入札）で約定した蓄電池・揚水の容量です。年に 1 回の公表なので、毎月は変わりません。メインオークションの最新は実需給 2029 年度（2026 年 1 月公表）、追加オークションの最新は実需給 2027 年度（2026 年 8 月公表）です。追加オークション（メインオークションで足りなかった供給力を、実需給の前の年に追加で買う入札）の約定価格は、「市場の数字」の表に載せました。

容量市場のメインオークションの約定価格は、東京で実需給 2024 年度から 2029 年度まで 14,137 円→3,495 円→5,834 円→9,555 円→14,812 円→15,111 円（円/kW）です。容量市場の長期脱炭素電源オークションの蓄電池・揚水の約定容量は、2025 年度応札でリチウムイオン蓄電池・揚水（新設を除く）81.9 万 kW、リチウムイオン以外の蓄電池・揚水（新設）・LDES 88.6 万 kW で、どちらも年 1 回の値のため毎月は変わらない最新の公表です。

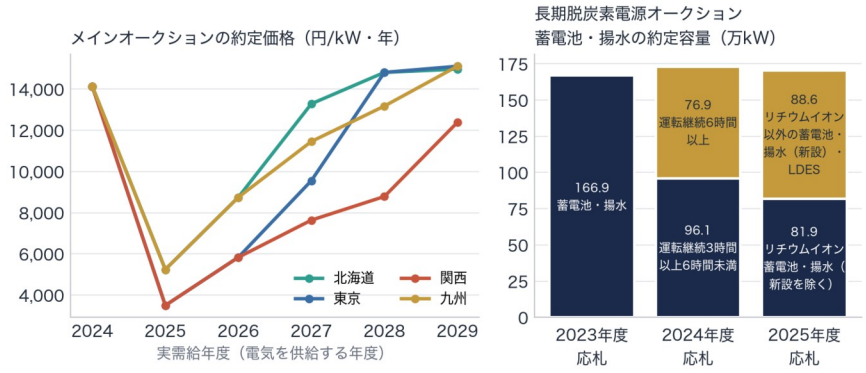


図 13　容量市場の約定価格（左・円/kW）と、長期脱炭素電源オークションの蓄電池・揚水の約定容量（右・万 kW）

出典: 電力広域的運営推進機関（OCCTO）公表の約定結果・容量確保契約の資料（出所は「前提と用語」の節）。公表のまま。

17. 当社の記録｜蓄電所の案件は、どこに増えているか

当社の蓄電所マーケット（蓄電所の売り買いの場）に、2026 年 10 月に新しく載せた案件を、送配電会社の管区別に数えました。市場全体の件数ではなく、当社が扱った案件の数字です。権利渡しは土地と電力の権利を渡す売り方、完成渡しは設備ができた状態で渡す売り方です。

当社の蓄電所マーケットの 2026 年 10 月の新着は 77 件・309.1 MW で、管区別では東京が 33 件・99.8 MW、東北が 8 件・73.4 MW、中部が 11 件・69.9 MW でした。

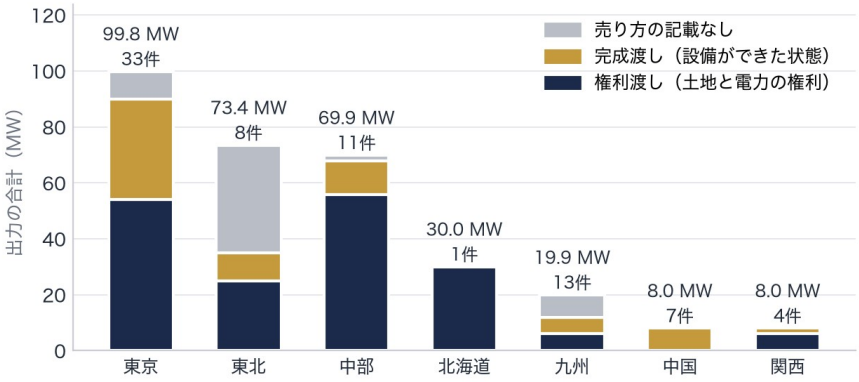


図 14　2026 年 10 月に蓄電所マーケットへ新しく載せた案件の出力（MW）

出典: 当社の蓄電所マーケットの記録（案件の所在地は管区までで、価格・当事者は載せない）。

18. 当社の記録｜系統につなぐのに、何か月・いくらかかるか

接続検討とは、送配電会社に「この場所につなげるか、工事にいくらかかるか」を調べてもらう手続きです。負担金は、つなぐ工事のうち申込む側が負担する費用です。当社が受け取った回答書のうち、高圧（6,600V の配電線につなぐもの）の分だけを管区別に集計しました。特別高圧は含めていません。5 件未満の管区は載せていません。

接続検討の回答（高圧だけの集計・2026 年 10 月 19 日時点）の工期の中央値は、東京 8.0 か月、中部 12.0 か月、関西 12.0 か月、九州 12.5 か月、東北 17.0 か月（5 件）です。負担金の中央値は、東京 3.02 百万円、中部 3.70 百万円、関西 12.34 百万円、九州 12.50 百万円、東北 32.35 百万円（8 件）です。

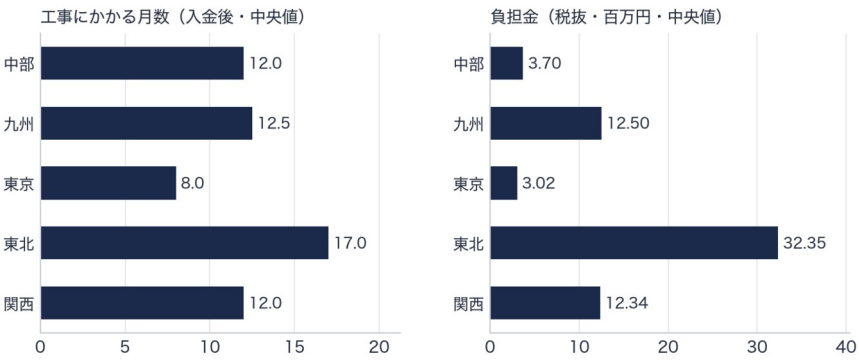


図 15　接続検討の回答（高圧）の管区別の中央値（左: 工事にかかる月数、右: 負担金・税抜）

出典: 当社が受け取った一般送配電事業者の接続検討回答書のうち高圧の分（2026 年 10 月 19 日 時点）の集計。

ScienceX

19. 市場の数字（資料にそのまま使える表）

本文の図の元になった数字を、資料に使えるよう表にしました。①需給調整市場の商品ごとの全国の数字（応札倍率・約定率・価格・蓄電池の割合）、②卸電気（JEPX）のエリア別の数字と取引量、③容量市場の約定価格です。

需給調整市場（2026年10月・速報値・全国）

商品	募集量（MW）	応札量（MW）	落札量（MW）	応札倍率（応札÷募集）	約定率（落札÷応札）	平均落札価格（円/kW・30分）	蓄電池の割合
一次調整力（オンライン）	1,095.5	1,598.1	1,160.7	145.9%	72.6%	3.22	35.3%
一次調整力（オフライン）	501.5	463.5	299.8	92.4%	64.7%	2.69	100.0%
二次調整力①	928.9	1,673.0	953.3	180.1%	57.0%	3.29	2.9%
二次調整力②	943.2	3,103.1	1,867.7	329.0%	60.2%	2.86	1.2%
三次調整力①	2,563.9	4,829.1	2,700.3	188.4%	55.9%	2.60	0.9%
三次調整力②	387.2	1,617.0	369.1	417.6%	22.8%	2.22	0.8%
複合商品	3,377.5	5,575.5	3,271.5	165.1%	58.7%	2.65	12.7%

量は30分コマあたりの平均です。応札倍率が100%未満の商品は、募集に対して応札が足りていません。約定率は、応札した量のうち落札された量の割合です。

出典: 電力需給調整力取引所（EPRX）公表の取引結果（速報値）と電源種別別の取引結果。当社集計。

卸電気・JEPX スポット市場（2026年10月・エリア別・円/kWh）

エリア	月平均	前年同月	日中（8〜16時）	夕方（16〜20時）	4時間の値差	最高	30円以上のコマ	0.01円のコマ
システム（全国）	22.51	11.67	16.02	31.06	20.42	47.88	220	39
北海道	20.49	12.89	11.31	32.25	29.02	105.00	303	67
東北	23.99	12.08	15.78	34.19	24.74	50.01	437	95
東京	27.02	13.06	23.12	34.69	17.14	50.01	466	16
中部	25.46	11.68	20.38	33.55	19.91	46.45	387	24
北陸	19.70	11.27	18.29	26.92	19.18	46.45	218	24
関西	19.50	11.27	18.22	26.76	18.71	46.45	215	29
中国	15.63	11.12	9.86	23.10	18.93	44.79	63	79
四国	11.44	9.28	7.50	16.61	17.27	37.51	23	146
九州	15.07	10.74	8.31	23.10	19.30	44.79	53	91

取引量（2026 年 10 月・31 日分の合計）：約定総量 30,319 百万 kWh（前年同月 22,279 百万 kWh）、売り入札量 45,218 百万 kWh、買い入札量 38,191 百万 kWh。

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）公表のスポット市場の取引結果。価格は 30 分コマの単純平均。当社集計。

容量市場メインオークションのエリアプライス（円/kW・年）

実需給年度	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
2024 年度	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137	14,137
2025 年度	5,242	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	3,495	5,242
2026 年度	8,749	5,833	5,834	5,832	5,832	5,832	5,832	5,832	8,748
2027 年度	13,287	9,044	9,555	7,823	7,638	7,638	7,638	7,638	11,457
2028 年度	14,812	14,812	14,812	10,280	8,785	8,785	8,785	8,785	13,177
2029 年度	14,972	15,111	15,111	12,388	12,388	12,388	12,388	12,388	15,112

容量市場追加オークションのエリアプライス（円/kW・年。開催したエリアだけ）

追加オークションの実需給年度	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
2025 年度	13,761	—	3,495	—	—	—	—	—	5,029
2026 年度	8,749	8,749	8,749	8,749	8,213	8,213	8,213	8,213	8,591
2027 年度	10,361	10,361	10,361	10,361	10,361	10,361	10,361	10,361	10,361

追加オークションは、メインオークションで足りなかった供給力を、実需給の前の年に追加で買う入札です。「—」は、そのエリアでは開催されませんでした（実需給 2025 年度は北海道・東京・九州だけ）。

長期脱炭素電源オークションの蓄電池・揚水の約定容量（万 kW）

応札年度	区分	約定容量（万 kW）
2023 年度応札	蓄電池・揚水	166.9
2024 年度応札	運転継続 3 時間以上 6 時間未満	96.1
2024 年度応札	運転継続 6 時間以上	76.9
2025 年度応札	リチウムイオン蓄電池・揚水（新設を除く）	81.9
2025 年度応札	リチウムイオン以外の蓄電池・揚水（新設）・LDES	88.6

出典: 電力広域的運営推進機関（OCCTO）公表の約定結果・容量確保契約の資料（出所は「前提と用語」の節）。公表のまま。

20. これからの日程

今月から３か月先まで（2026 年 11 月〜2027 年２月）に、蓄電池の事業者・開発者・投資家が動く出来事のうち、出どころの頁で日付を確かめた物だけを並べました。時期が「頃・予定・目途」の物と、確かめていない物は載せていません。月の単位の物は、要確認の点を添えた物だけです。長期脱炭素電源オークションの「期待容量の登録」は、応札（申込み）の前に済ませる登録の手続きです。「応札容量の算定諸元」は、応札する容量を計算する元になる数字です（どちらも募集要綱の語のままです）。

日付	出来事	中身	動く人	出どころ
2026 年 12 月９日〜15 日	長期脱炭素電源オークション（応札年度 2026）期待容量の登録受付	期待容量の登録受付は 12 月９日〜15 日、審査は 12 月 16 日〜25 日。応札は 2027 年１月。	蓄電池の開発者・保有者（応札を考える事業者）	[1]
2027 年１月 19 日〜26 日	長期脱炭素電源オークション（応札年度 2026）の応札受付	応札の受付は１月 19 日〜26 日。募集は蓄電池（リチウムイオン）40 万 kW・リチウム以外の蓄電池 40 万 kW。応札容量の算定諸元の登録は１月 27 日〜２月３日。	蓄電池の開発者・保有者	[1]
2027 年２月 18 日	SII（国の補助金の事務を受け持つ団体）の令和７年度補正の補助事業の完了期限（単年度）	事業期間は交付決定日から 2027 年２月 18 日まで。複数年度の事業は交付決定日から最大 2029 年１月 19 日まで。交付決定前の契約・発注は補助対象外。	補助に採択された事業者	[2]

・[1] OCCTO 長期脱炭素電源オークション 募集要綱（応札年度 2026）2026-09-02 https://www.occto.or.jp/assets/260902_boshuyoukou_long_2026.pdf

・[2] SII チラシ https://sii.or.jp/chikudenchi07r/uploads/R7r_keitouyou_flyer.pdf

・当社の確認日: 2026-11-22。日程は主催者・官公庁の公表で変わることがあります。

21. 蓄電所マーケットの案件数

蓄電所マーケット（https://dealroom.scix.co.jp）で、買い手に見えている案件の数です。当社の公開の市場データ（https://www.scix.co.jp/market-data）と同じ出どころで、週の終わり時点の数を使っています。この節は 2026 年 10 月末の週の数で、今の数は市場データの頁で見られます。

・10 月末の週（10/26〜11/1）の終わり時点: 177 件。

・前の月末の週（9/28〜10/4）の終わり時点は 129 件で、48 件の増加。

・発行の時点でいちばん新しい週（11/16〜11/22）の終わり時点: 279 件（10 月末の週より 102 件多い）。

・数は、その週の終わりに公開の一覧に載っていた案件の数です。前の月との差は載っている数の差で、その月に新しく載った案件の数ではありません。

22. 前提と用語

・数字は出典の公表値から当社が集計したものです。複数の月を合計したり、年に換算したりはしていません。蓄電所 1 か所の収益の額は載せていません。

・対象の月: 需給調整市場（EPRX）は 2026 年 10 月 の速報値（受渡日が 31 日までの分）、卸電気（JEPX）は 2026 年 10 月（31 日分）です。需給調整市場の 2026 年 9 月の数字は、前の号（2026 年 10 月号）では速報値（受渡日が 29 日までの分）でしたが、この号は確報値で、少し違います。

・2026 年 11 月の途中経過の節は、月の途中の速報で、月の全部の数字ではありません。需給調整市場は受渡日が 11 月 23 日まで、卸電気は受渡日が 11 月 24 日までの分です。月が終わると数字が変わります。

・需給調整市場: EPRX の速報値の全国（合計の列）。募集量は送配電会社（TSO）別、応札量・落札量・平均落札価格は電源のあるエリア別の値。量は 30 分コマあたりの平均。平均落札価格は落札量で重みを付けた平均。応札倍率＝応札量÷募集量、約定率＝落札量÷応札量。3 時間ブロックの期間（三次調整力②は 2025 年 3 月 13 日まで、ほかの商品は 2026 年 3 月 13 日まで）は、1 ブロックを 30 分コマ 6 つとして数えました。

・確報値: EPRX が月が終わってから公表する値（約定結果に、約定のあとの追加調達や訂正を反映した合計。公表ファイルの「合計（確報値）」の行）。月ごとの推移（図 4・図 5 など）は、確報値が公表された月は確報値、まだの月は速報値で描いています（2024 年 4 月〜2026 年 9 月は確報値、2026 年 10 月は速報値）。速報値とは、応札量・落札量・平均落札価格が少し違うことがあるので、確報値が出ると、その月の数字は変わります。

・落札価格の幅: 細い線は、その月の落札のあったコマのうち、いちばん安い札（最低落札価格）からいちばん高い札（最高落札価格）まで（電源のあるエリア別の公表値）。一次調整力（オンライン）・二次調整力①②・三次調整力①の公表値には複合商品の札（複数の商品をまとめた 1 つの値段）も入るため、10 円を超え、同じコマ・エリアの複合商品の札で説明できる札は細い線から除きました。一次調整力（オフライン）は、上限価格（この月は 10 円）を超える札（需給調整市場のシステムは上限を超える札も約定させ、精算で上限に切り下げます）を細い線から除きました。太い帯は、落札のあったコマの平均落札価格を安い順に並べたときの下から 10%〜90%の幅。点は落札量で重みを付けた平均。

・管区×時刻の約定率: 月の同じ時刻のコマの落札量の合計÷応札量の合計（電源のあるエリア別）。

・需給調整市場の商品の、出力を変えるまでの時間と続ける時間は、2026 年度の仕様です（電力需給調整力取引所「商品要件」第 6 版）。一次調整力は周波数の変化を自分で感じ取って動き、オンラインは送配電会社が専用線で動きを見る枠、オフラインは専用線を引かずに動いた記録をあとから出す枠です。オフラインの出力を変えるまでの時間は 30 秒以内で、続ける時間の決まりはありません。

・三次調整力②の高値のコマ: 全国の平均落札価格が 10 円/kW・30 分以上のコマ。上位 1%は、売上（平均落札価格×落札量）の多い順に並べた上位 1%のコマ（コマの数の 1%を四捨五入）。最高落札価格は、電源のあるエリア別の公表値で、落札された札のうちいちばん高い 1 つの札の値段です。需給調整市場では、落札された札はそれぞれ自分の札の値段で精算される（マルチプライス）ため、同じコマ・エリアの平均落札価格はこれより低くなります。

・平均価格は 30 分コマの単純平均（取引量による重みなし）。日中は 8〜16 時、夕方は 16〜20 時のコマ。

・値差: その日の 30 分コマを価格の順に並べ、高い 8 コマ（4 時間）の平均から安い 8 コマの平均を引いた差（2 時間は 4 コマ）。安い時間と高い時間の順番、充放電で失う電気、手数料・税・託送の費用は見ていません。実際の収益を示すものではありません。

出典（OCCTO・容量市場の約定結果）: 実需給 2024 年度 https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2020/files/youryou_kentoukai_27_05.pdf／実需給 2025 年度 https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2021/files/youryou_kentoukai_35_03_1.pdf／実需給 2026 年度 https://www.occto.or.jp/iinkai/youryou/kentoukai/2022/files/youryou_kentoukai_43_03.pdf／実需給 2027 年度 https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2023/files/240124_mainauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2027.pdf／実需給 2028 年度 https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2024/files/250129_mainauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2028.pdf／実需給 2029 年度 https://www.occto.or.jp/assets/news/capacity-market/260123_mainauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2029.pdf

出典（OCCTO・追加オークション）: 実需給 2025 年度 https://www.occto.or.jp/assets/market-board/market/oshirase/2024/files/240710_tsuikaauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2025.pdf（2024-07-10 公表）／実需給 2026 年度 https://www.occto.or.jp/assets/market-board/market/oshirase/2025/files/250728_tsuikaauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2026.pdf（2025-07-28 公表）／実需給 2027 年度 https://www.occto.or.jp/assets/assets/news/capacity-market/260806_tsuikaauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2027.pdf（2026-08-06 公表）

出典（OCCTO・長期脱炭素電源オークション）: 2023 年度応札 https://www.occto.or.jp/assets/260605_auction_keiyakujyoukyou_kouhyou.pdf／2024 年度応札 https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/files/longauction_keiyakukekka_2024.pdf／2025 年度応札 https://www.occto.or.jp/assets/various/capacity-market/jitsujukyukanren/yoryokakuhokeiyaku/longauction_keiyakukekka_2025.pdf

・容量市場の約定結果は、実需給年度ごとに別の年に公表されています（2024 年度分は 2020 年、2029 年度分は 2026 年 1 月）。長期脱炭素電源オークションの蓄電池の件数は、公表の集計表に載っていないため示していません。

出典: 日本卸電力取引所 JEPX スポット市場の取引結果／電力需給調整力取引所 EPRX の取引結果（速報値・確報値）と電源種別別の取引結果／電力広域的運営推進機関（OCCTO）の容量市場メインオークション・追加オークションの約定結果と長期脱炭素電源オークションの容量確保契約の資料／当社が受け取った接続検討回答書の集計／当社の蓄電所マーケットの記録。

用語: システムプライス（システム・全国）＝日本全体を 1 つの市場とみなしたときの卸電気の値段。エリアプライス＝送電線の混み具合でエリアごとに分かれた値段。系統＝電力会社の送電網。系統連系＝送電網につなぐこと。MW＝電力の大きさ（1MW＝1,000kW）。MWh＝ためられる電気の量。円/kWh＝電気 1kWh あたりの値段。LDES＝長時間の蓄電（Long Duration Energy Storage）。SII＝一般社団法人環境共創イニシアチブ（国の補助金の事務を受け持つ団体）。

ScienceX

サイエンスエックス株式会社　https://www.scix.co.jp　お問い合わせ s@scix.co.jp

ニュースレター「系統用蓄電池の一次データ」:

https://www.linkedin.com/newsletters/7521830530569445376/

図表や数値は、出典を明記すればお使いいただけます。引用ガイド: https://www.scix.co.jp/press